

結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会
事務局発行
甲府市北口一丁目二一九
甲府地方法務局
人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。土くさくあたたかい言葉です。

みんなで築こう人権の世紀 平成二一年度定時総会開催される

平成二一年度山梨県人権擁護委員連合会の定時総会が、五月二二日、「ベルクラシック甲府」に於いて開催された。

例年通り午前中には人権啓発講演会が開かれ、日本青年心理学会名誉会員の西平直喜先生が「心と体の健康

康く人権擁護のケアに携わる皆さんに」と題して講演された。講演の中で先生は、人権擁護分野でのケアの基本的な技術として①傾聴する(受容) ②共感する(共感的理解) ③「我」を捨て純粋になり本当の自分をさらけ出すの三つが大切で

あること等を説明。また、相手の幸福を心の健康やライフスタイルから考えること、「気」を活性化させて若さと元気を取り戻す方法などを紹介された。



これからの啓発活動

人権擁護課長 川崎 明祐

本年四月に甲府局の人権擁護課長に着任しました。どうぞよろしく御願います。

出身は茨城県で、霞ヶ浦のすぐ近くで生まれ育ちました。甲府市に引っ越して周囲の山々の景色を見回すと、まるで屏風絵の世界にいるようで、毎日感動しています。

さて、山梨県は人権擁護委員の皆さんの活動が盛んと聞いており、とても頼もしく思っています。私たち法務局職員も、一緒に県内の自由人権思想の啓発活動を進めていきたいと思います。啓発活動は、政府の方針により効率性と結果を求められ、常に見直しが求められております。さらに、啓発の主体は、県(地域)人権啓発ネットワーク協議会と地方委託事業に移ってきています。そのため、委託事業の計画や実行においても、法務局および連合会が実施主体として展開できる体制を構築していくことが求められます。皆さんのお知恵を拝借して展開していきたいと思っております。

「オン・マイ・マインド」によるジャズを聞きながらの昼食を挟んで、午後には定時総会が開催された。委員の表彰に続いて議事に入り、二〇年度の報告と、二一年度の計画案などが了承された。

この後、▽子ども人権委員会の設置、▽来年度本県で開催される関東人権擁護委員連合会大会・研究大会開催に伴う企画・実行委員会の設置、▽山梨県人権啓発活動基金の設立の三点について提案があり、原案通り承認された。また、本年度事業計画の中で、九月に

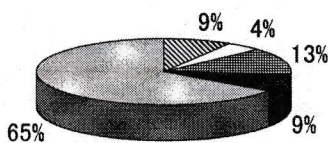


は全国一斉「高齢者・障害者の人権相談」強化週間を設けたり、企業訪問啓発や社会福祉施設訪問啓発をするなど、高齢者・障害者、企業に向けた啓発活動に重点をおいた方針が示され、標語の依頼などを通じて啓発活動の拡大が図られることになった。次いで、今年五年ぶりに改定された啓発活動重点目標「みんなで築こう人権の世紀」を考えよう相手の気持ち、育てよう、思いやりの心」に基づいた宣言・決議を採択した。

また、新年度役員は、副会長の加藤麗蔵氏に代わって小林一有氏が就任、理事四名と監事一名が代わったほかは全役員留任が了承された。このほか、各協議会でも四月一五日から二二日にかけて順次総会が開催された。

「人権擁護委員の日」 広報車による啓発も

「人権擁護委員の日」の活動が、今年も六月一日を中



相談内容	相談数
いじり	0
暴行・虐待	0
差別	2
プライバシー	1
住居・生活の安全	3
強制・強要	2
その他	15

心に実施された。県内全市町村で、街頭啓発と特設相談所の開設が行なわれ、全体の九一%にも上る委員が、終日、人権意識の普及・高揚に努めた。新たに用意された広報車用テープの評判は上々、また、改良されたポケット時刻表は大好評で飛ぶように消えて、終了予定時刻を早めるほどの手応えある啓発となった。一方、相談件数は二三件で、昨年よりも減少したが、委員たちはそれぞれの相談に丁寧に対応、また相談の少ない市町村では、委員間の情報交換や活発な意見の交換がなされるなど、全体として有意義な「人権擁護委員の日」であったと言える。相談内容の内訳は次の通りだが、件数の増減を重要視するならば、今後の課題となるだろう。

関プロ山梨大会の開催に向けて(一)

「栃木大会に参加して」

関東人権擁護委員連合会
大会・研究大会は、六月一八日栃木県宇都宮市で四五〇人が参加(地元二〇〇人・山梨二〇人)して開催された。

総会そのものは関プロ役員によって行われる(横浜大会から三回目)ため、我々が参加するのは総会報告会、研究大会および意見交換会である。

総会報告は中村関プロ会長が行い、事業全般と二一年度役員として中村会長(東京都連)、丸山副会長(山梨県連)、生沼副会長(群馬県連)が選出されたことなどの報告があった。

研究大会は、講演会とパネルディスカッションが行われた。講演会の講師は落合恵子氏(作家、東京家政大学教授)で、「いま人権から：いのちの感受性」と題して行われ、社会を人権から見つめ、ゴールもまた人権など、鋭い口調で話さ



れ、大好評であった。パネルディスカッションは「人権作文の反省と今後のあり方」をテーマに、山梨県連の弦間委員をはじめ五人のパネラーにより実施され、活発な意見が交わされた。

最後の意見交換会では、地元委員を主体とした混声合唱が披露され、栃木県連らしさをアピールした。なお、

その際、丸山会長が挨拶に立ち、来年度開催の決意表明を行った。

以上が栃木大会の概要であるが、合唱団をはじめ各部門の司会を務めるなど、女性委員の活躍が印象的な大会であった。

山梨県連としては、この栃木大会を参考にし

て、今後立ち上げる実行委員会、山梨らしさを追求した企画を立案していくこととなる。いずれにしても、関プロ山梨大会開催にあたっては、全人権擁護委員の一致した協力が前提となるだろう。(事務局 土肥)

「人権の花」贈呈式

例年通り五月から六月にかけて、「人権の花」贈呈式が県内一八校(西原小学校は上野原市独自)で実施された。今年も支援学校での

実施一校を始め、人権教室の同時開催や地域参加型を企画するなど新しい試みが増えてきており、委員各位の熱意やご努力が窺える。

「人権の花」の活動が、児童の心にしつかりと根付くよう、贈呈式後の見守りもお願いしたい。各地区の「人権の花」の活動を共有すべく、

今回は市川三郷の塩島委員に、上野小学校の贈呈式の紹介をお願いした。

「人権の花」をこころの中にも
塩島 明美(市川三郷町)

上野小学校(児童数一六六名)の贈呈式は、六月一八日に行われ、花の苗は、町長さんや鯉沢支局長さん、協議会長さんから児童の代表たちに手渡されました。続いて「きれいな花が咲くよう、やさしく大切に育てます。花を育てると同じやさしい気持ちを私たちが全員の中にも育てて、友だちを大切にしようががんばります。そして友だちを大切に育てる気持ちは、一生忘れることはないでしょう。」と、児童代表から力強い言葉がありました。このあと、メッセージと花の種をつけた風船を飛ばしました。こんなメッセージもありました。《これは「人権の花」の種です。この花を大切に育ててください》とか《ぼくは友達を大切にします。みんななかよしの世界になればいいの》とか。子どもたちの歓声は、風船が見えなくなるまで続いていました。

委員から一言

人権啓発今昔

網倉 義久(笛吹)

最近、「地域の崩壊」が危惧されてきている。その現象の一つの証左として、地域の役職の引き受け手が極端に少なくなってきた。例えば、PTAの役員・町内会の役員・さらには、民生委員にいたるまで引き受け手がなくなってきたと聞くと、灰聞する。翻って、人権擁護委員にまでその現象が及ぶのではないかと心配している。自主運営・自主財源も結構ではあるが、委員に過重に過ぎる負担がかかってくる。と当然問題も起きてくることも予想される。最近の人権救済まで取り入れた活動と、従前の唯、啓蒙啓発のみの活動とを比較すると今昔の感がする。これらの、消極的な現状を打破するためにも、確固とした「人権擁護法」の成立が待ち望まれるところである。

法務局職員を紹介します

甲府地方法務局人権擁護課

- 課長 川崎 明祐
- 係長 河住 昇治
- 主任 橋本 英紀
- 係員 塚原みどり
- 支局長(峡南協議会) 須藤 明
- 係長 浅川 裕之
- 係員 遠藤 教子
- 大月支局(都留協議会) 支局長 酒井 順一
- 係長 川口 一弘
- 係員 正木 淳

退任された委員の方々

平成二一年七月一日付で次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。へ敬称は略させていただきます

- 武井きみこ(山梨市)
- 大村 利正(身延町)
- 村松 武治(市川三郷町)
- 大森りかえ(忍野村)

編集後記

☆七月二五日、例年通り「富士山啓発」が行われます。☆「結い」も、機関紙昇格が決定しました。しばらくは移行準備期間として従来通りの形式で続ける予定です。多方面からのご意見などをお聞かせください。

